Victor "HIS MASTER'S VOICE"

GR-DVA11K
同梱ソフト

JLIPビデオプロデューサー

はじめに お読みください ｜ ピクチャー ナビゲーター ｜ JLIPビデオ キャプチャー ｜ JLIPビデオ プロデューサー

JLIPビデオプロデューサーとは、Windows®パソコンを使って、ケーブル1本で映像機器を操作して簡単にビデオの自動編集（ダビング編集）をおこなうことができるアプリケーションです。

はじめに
基本操作
応用操作
その他

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 動作環境は、「はじめにお読みください」の取扱説明書をよくお読みください。

LYT0661-004A

安全上のご注意

⚠注意

■付属のCD-ROMをオーディオ用CDプレーヤーで再生しない

オーディオ用CDプレーヤーやCDラジカセでCD-ROMを再生しようとすると、過大な信号が流れて、回路やスピーカーに障害を与えることがあります。

■CD-ROMの取り扱いについて

鏡面（文字などが印刷されている面と反対の面）を汚したり、傷を付けないようにしてください。また、裏表どちらの面にも文字を書いたり、シール等を貼らないでください。
汚れたときは柔らかい布で中心孔から外側へ放射状に軽く拭き取ってください。
従来のレコード・クリーナーやスプレーは使わないでください。
ディスクを曲げたり、鏡面に触れたりしないでください。
ほこり、直射日光、高温多湿の場所は避けてください。

- CD-ROMの中にあるReadme.txtファイルには、セットアップに関する追加情報や、取扱説明書に記載されていない情報が載っています。付属のソフトウェアをインストールする前にお読みください。
- 付属のソフトウェアの最新情報については、インターネットのビクターホームページに掲載されます。
ホームページのアドレスは、http://www.jvc-victor.co.jp/ です。

もくじ

はじめに

基本操作編

応用操作編

その他

本文中の記号の見方

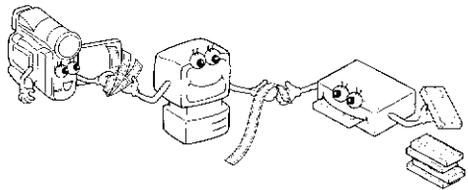
操作上の注意などが書かれています。

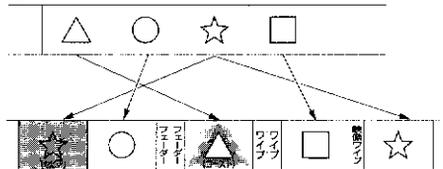
機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

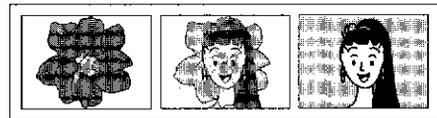
主な特長

JLIPコントロール機能

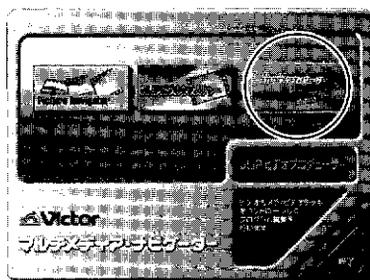
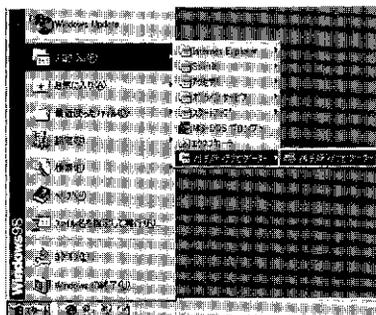
JLIP対応のデジタルビデオカメラやビデオデッキをご使用になると、ビデオ機器の基本操作はすべてパソコンのモニター画面上でおこなうことができます。

- プログラム再生（99プログラムまで可能）やビデオのプログラム編集が可能です。

自動編集機能

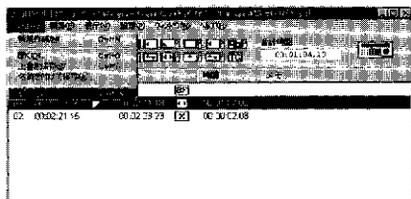
撮影したテープのいいところだけを選んで、最後にボタン1つで自動的にビデオデッキのテープにダビングします。

映像編集機能

ビデオカメラの演出効果や場面切替の機能をフル活用して、完成度の高いメリハリのある映像がつくれます。
見る人を退屈させない、見たくなる映像に仕上げることができます。

起動と終了のしかた

起動のしかた

タスクバーの「スタート」－「プログラム」項目から「マルチメディアナビゲーター」を選択します。マルチメディア・ナビゲーター画面を表示し「JLIPビデオプロデューサー」をクリックします。

終了のしかた

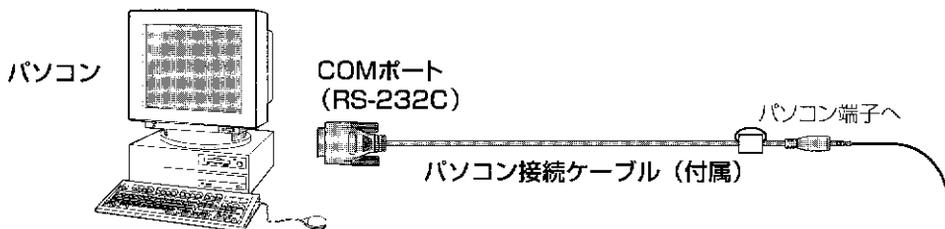
JLIPビデオプロデューサー画面の「ファイル」－「終了」を選択します。確認の画面を表示し「はい」を選択します。マルチメディア・ナビゲーター画面を表示し「終了」ボタンをクリックします。

はじめに

- すでに他のアプリケーションソフトが立ち上がっている場合は、すべて終了させてください。
- 時間や時刻によって定期的に起動するアプリケーションソフトはその機能を停止させてください。（スクリーンセーバー、電子メール、通信ソフト、ウィルスチェッカー、スケジューラーなど）
- お使いのパソコンに内蔵または接続しているハードディスクのフォルダやプリンターをネットワークで他のパソコンに共有させているときは、共有を解除してください。
- 一部のノートパソコンでは、初期設定がRS-232C端子をシリアルポートとして使用できない設定になっているものや、省電力のために電力を供給しない設定になっているものがあります。このようなときは、パソコンの説明書にしたがってRS-232C端子をシリアルポートとして使用できるように、設定（またはBIOS変更）してください。
- PC98シリーズで25ピンと9ピンのRS-232C端子を持つパソコンで、9ピン端子が一部動作しない機種があります。このようなときは、25ピン端子を使用してください。

ビデオプロデューサーの動作中はビデオ機器の電源を切ったり、パソコン接続ケーブルの抜き差しをしないでください。パソコンが誤動作する場合があります。

接続のしかた

JLIP端子付きビデオ機器と接続した場合

- 安全のため各機器の電源を切ってから接続してください。
- デジタルビデオカメラを接続してお使いの場合は、ACアダプターをお使いください。
- 映像はビデオカメラのファインダーまたは液晶画面に映ります。パソコン画面上で映像を確認することはできません。
- 接続用ケーブルにフェライトコアが付いている場合は、フェライトコアが付いた側をデジタルビデオカメラへ接続してください。

PC9821をお持ちのかたは

市販の変換ケーブルが必要です。
・RS-232C変換アダプター
D-sub 9ピンオス：D-sub 25ピンオス

PC9821ノートをお持ちのかたは

市販の変換ケーブルが2つ必要です。
・RS-232C変換アダプター
D-sub 9ピンオス：D-sub 25ピンオス
・RS-232C変換ケーブル（ストレート）
D-dub 25ピンメス：D-sub 14ピンオス

JLIP端子とリモートポーズ端子のないビデオデッキを接続した場合

編集ケーブル（付属）は次のように接続してください。

ビデオデッキ

JLIP端子へ
（4極）

リモートポーズ
端子へ（2極）

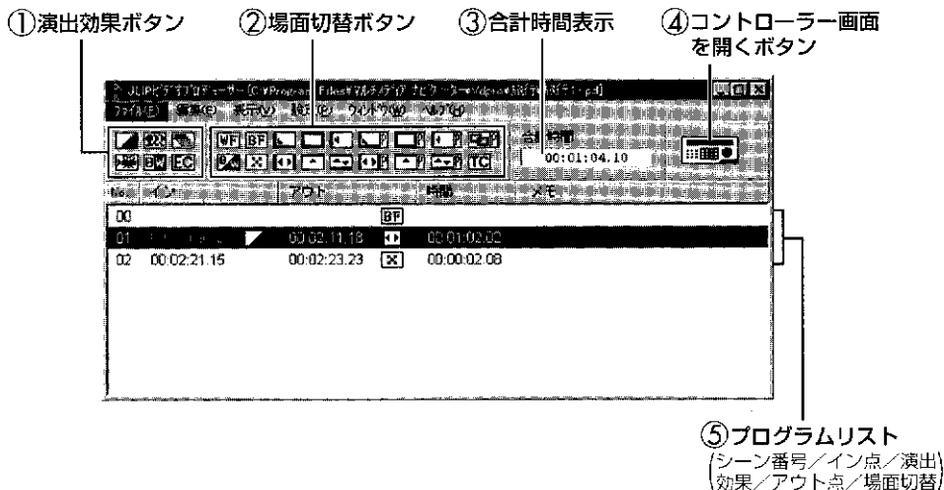
編集ケーブル

リモコン
（別売アクセサリーキットに付属）

デジタル
ビデオカメラ

映像／音声コードを接続します。
S映像コードを接続します。
デジタルビデオ
カメラ
JLIP
端子へ
JLIP端子へ
（4極）
AV出力
端子へ
S出力
端子へ
フェライトコア
ビデオにJLIP端
子がある場合は
接続します。
ビデオにJLIP端
子がない場合は
接続します。
ビデオにS入力
端子がある場合
は接続します。
JLIPケーブル
（ビクターサービス窓口にてお買い求めください。）
編集ケーブル
（付属）
映像／音声
コード
（デジタルビデオカメラに付属）
S映像コード
（デジタルビデオカメラに付属）
映像／音声
入力端子へ
JLIP
端子へ
リモートポーズ
端子へ（2極）
（赤）（白）（黄）
S入力端子へ
テレビへ
接続
ビクタービデオ
テレビ

基本操作

ビデオプロデューサー画面について

①「演出効果」ボタン

5種類の演出効果をシーンごとに設定します。

- 効果のキャンセルは、効果クリア「EC」で行います。

②「場面切替」ボタン

7種の2画面切替と10種の単画面切替があります。

- 接続する機器に機能が搭載されていないボタンは表示しません。
- 切替設定のキャンセルは、切替クリア「TC」で行います。

③合計時間表示

シーン番号01～最大99までの合計タイムを表示します。

- 黒や白の画面を使った場面切替(P無し場面切替）を使って、ダビング編集をすると、フェードアウトやワイプアウトの時間が加算されるため、合計カウンター値よりも実際の録画時間は長くなります。

④「コントローラー画面を開く」ボタン

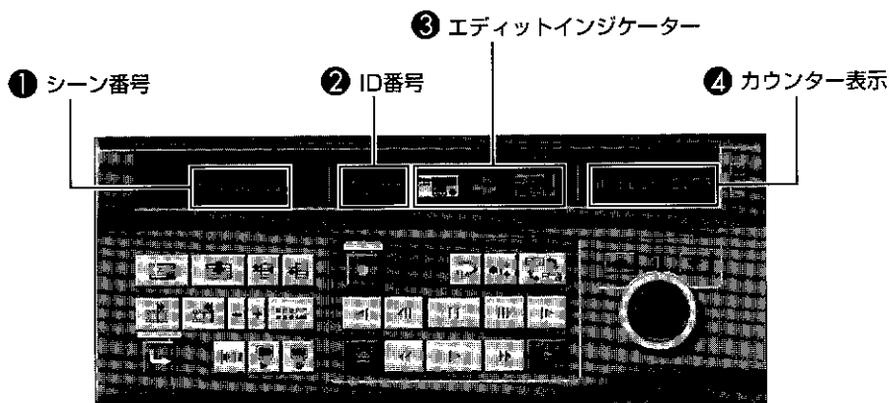
コントローラーが表示されます。

- 「ウィンドウ」－「コントローラー」を選択しても表示できます。

⑤プログラムリスト

左からシーン番号/イン点/演出効果/アウト点/場面切替/時間カウンター/メモの設定情報を表示します。

- イン点/アウト点からなるシーンは1ファイルに対して最高99プログラムまで設定可能です。

コントローラー画面について

❶ シーン番号

現在選択されているプログラムリストの番号を表示します。

本システムに組み込めない録画機器を使用する場合

1. JLIP接続した再生側機器でイン点の映像を頭出しして再生ポーズにします。
2. 「エディットスタンバイ」ボタンを押します。
3. JLIP以外で動作する録画機器のイン点を頭出しして録画ポーズにします。
4. 再生機器の再生ボタンと録画機器の録画開始ボタンを同時に押します。
5. 再生側のアウト点を過ぎたら録画を停止させます。

- 録画ポーズ状態にするための操作方法は録画側機器のマニュアルをお読みください。

❷ ID番号

操作している機器のID番号を表示します。

- ID番号をマウスでクリックするとJLIP機器画面が表示されて、シリアルポートの切替設定やJLIP機器のスキャンも行なえます。

❸ エディットインジケーター

通常モードでは、

操作対象になっているVTRが緑色で表示されます。

エディットモードでは、

両方のVTR表示が点灯し（再生側：緑色、録画側：赤色）、矢印も点灯します。

- 録画側VTRが実際に録画を行なっているとき（イン点〜アウト点）では録画側VTRが赤色に点灯します。
- 各VTRをクリックして操作対象を切り替えることができます。

❹ カウンター表示

「現在のテープ位置」を表示します。

例　00：01：45：10
　　　時　分　秒　フレーム

- デジタルビデオカメラのカウンターはドロップフレーム方式を採用しています。

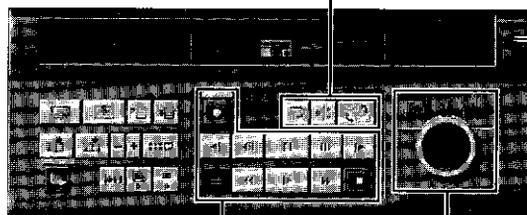
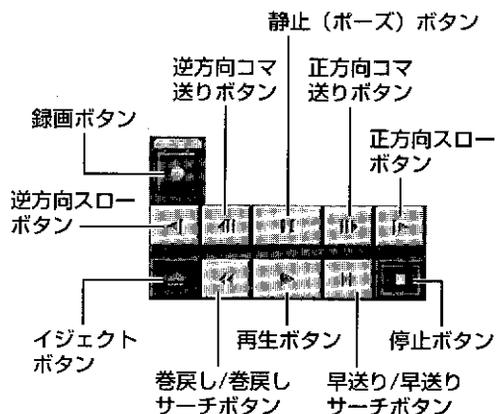
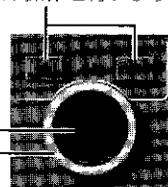
ドロップフレーム方式とは

- 1秒=30フレームでカウントする※タイムコードと、フレーム周期が29.97のNTSC信号との間に起きるズレを自動的に補正する方式です。
- 補正のしかたは、分の単位が更新されるときに、00および01フレームを飛ばし、02フレームから始めることで補正します。ただし、0･10･20･30など分が10の倍数のときのみ00フレームから始めます。

※タイムコードとは、撮影と同時に、テープ上に時・分・秒・フレーム（1秒=約30フレーム）単位で記録されている時間データのことです。

基本操作

基本操作（つづき）

❺ エディットスタンバイボタン
❻ シンクロエディットボタン
❼ 再生機/録画機選択ボタン
[コントローラー]
閉じるボタン
❽ テープ操作ボタン
静止（ポーズ）ボタン
逆方向コマ
送りボタン
正方向コマ
送りボタン
録画ボタン
正方向スロー
ボタン
逆方向スロー
ボタン
イジェクト
ボタン
再生ボタン
停止ボタン
巻戻し/巻戻し
サーチボタン
早送り/早送り
サーチボタン
❾ ジョグ／シャトル
ジョグ/シャトル操作ボタン
このボタンをクリックしてジョグ/
シャトル操作を行います。
ジョグ／シャトルダイヤル切替ボタン
内側のリングが点灯しているとジョグ
ダイヤルモードです。
外側のリングが点灯しているとシャト
ルダイヤルモードです。

❺「エディットスタンバイ」ボタン

再生側VTRを、あらかじめオプション画面（25ページ）で設定されているシンクロエディットプリロール時間分戻してポーズ状態にします。

- 本編集システムに組み込めないRS422A制御のVTRなどと組み合わせてマニュアル編集を行なうときに便利です。
- カウンターが00：00：30：00以上でないと押すことはできません。
- 再生VTRがポーズでない場合は押すことはできません。

❻「シンクロエディット」ボタン

録画側VTRと再生側VTRのイン点で再生ポーズにした後に、このボタンを押すと、両方のVTRをプリロール分巻き戻してスタートし、1イベントの編集を実行します。

- アウト点の指定はないので、ストップボタンで停止させます。
- カウンターが00：00：30：00以上でないと押すことはできません。
- 再生VTRがポーズでない場合は押すことはできません。

❼「再生機/録画機選択」ボタン

操作するVTRを選択します。録画側がJLIP接続されていないときは強制的に再生側が選択されます。

- JLIPの記録機器がない場合は、押すことはできません。

❽「テープ操作」ボタン

このボタンは、ビデオカメラや録画側ビデオを操作するボタンです。

- スロー再生するには、「静止」を押したあとに、「スロー」ボタンをクリックしてください。
- コマ送り再生するには、「静止」を押したあとに、「コマ送り」ボタンをクリックしてください。
- 「録画」ボタンはロックのフタがついていますので、クリックしてフタをオープンしてから押します。

❾ ジョグ/シャトル

ジョグダイヤルランプ（内側のランプ）/ジョグダイヤル

マウスでクリックしてジョグダイヤルランプが点灯すると、ジョグダイヤルモードになります。

- ⬅/➡をマウスでクリックするたびにコマ送りできます。
- このときに数字キーによるVTR操作が可能になります。

シャトルランプ（外側のリング）/シャトルリング

マウスでクリックしてシャトルランプを点灯させると、シャトルモードになります。

- ⬅/➡クリックするとスロー再生、再生、早送り再生になります。
- このときに数字キーによるVTR操作が可能になります。

ジョグ/シャトル　パソコンのテンキー割り当て

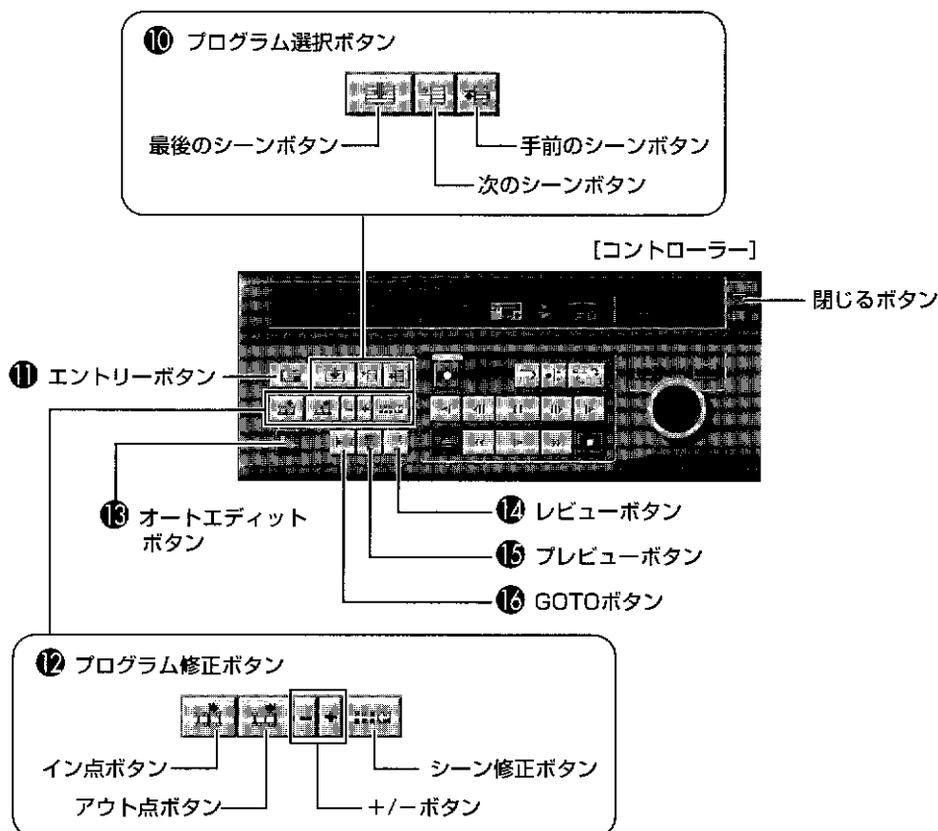
<ジョグモード>

「2」　：
「4」　：コ
「8」　：ジョグ/シャトル切替&
「6」　：コ
「•」　：ス

<シャトルモード>

「2」　：再生
「4」　：　REW方向に1段加速、または向に1段減速
「8」　：ジョグ/シャトル切替&ポーズ
「6」　：FF方向に1段加速、またはREW方向に1段減速
「•」　：ストップ

基本操作

基本操作（つづき）

⑩「プログラム選択」ボタン

プログラムの選択は、プログラムリストのシーン番号をクリックしても選択できます。

「最後のシーン」ボタン

- このボタンを押すとプログラムリストの選択位置が末尾に瞬時に移動します。
- プログラム数が多い時に便利です。

「次のシーンボタン」

- プログラムの指定位置が下に1つ移動します。

「手前のシーン」ボタン

- プログラムの指定位置が上に1つ移動します。

⑪「エントリー」ボタン

クリックするたびにイン点/アウト点の順に現在のカウンター値が入力されます。

- 各シーンのイン点、アウト点を設定するボタンです。
- プログラム選択ボタンで、「最後のシーン」以外のボタンを押してから「エントリー」を押すと、現在位置の次の番号に新たなプログラムが追加されます。今まであった以降のプログラムは1つずつシーン番号が増えて後ろにずれます。
- カウンターが00：00：30：00以上でないと押すことはできません。

⑫「プログラム修正」ボタン

プログラムを修正するときは、プログラム選択ボタンでシーン番号を指定した後にこのボタンでイン点かアウト点かを指定します。「+/−」で各々修正します。

「イン点」ボタン

イン点のタイムコードが選択されて赤色で表示されます。

- 「+/−」でイン点のタイムコードを修正できます。
- さらに「GOTO」ボタンを押すとイン点が頭出しされて再生ポーズ状態になります。
- 複数のシーンが選択されているときは、押すことができません。

「アウト点」ボタン

アウト点のタイムコードが選択されて赤色で表示されます。

- 「+/−」でアウト点のタイムコードを修正できます。
- 複数のシーンが選択されているときは、押すことができません。

「+/−」ボタン

指定されたプログラムのイン点またはアウト点のタイムコードを修正できます。

+：タイムデーターが1フレームずつ増えます。

−：タイムデーターが1フレームずつ減ります。

- イン点またはアウト点が選択されていないときは、押すことができません。

「シーンの修正」ボタン

現在選択されているプログラムリストのシーンを修正するときに押します。

- 「シーン修正」画面が開きイン点、アウト点、テープ交換やメモなども修正できます。
- シーン番号をダブルクリックしても「シーン修正」画面が開きます。
- 複数のシーンが選択されているときは、押すことができません。

⑬「オートエディット」ボタン

シーン番号順に全シーンを再生します。

- 通常はロックのフタがついていますので、クリックしてフタをオープンしてから押します。
- 録画側ビデオを接続して、録画ポーズ状態になっているときは、自動的に編集が開始されます。

⑭「レビュー」ボタン

録画機器を操作して編集後の映像を再生します。シンクロエディット使用時には1イベントのみを、オートエディット実行後は実行したプログラムすべてを再生します。

- 録画側がJLIP接続されていない場合は機能しません。
- オートエディットが起動から1回も実行されていないと押すことはできません。

⑮「プレビュー」ボタン

指定されているプログラムのイン点からアウト点までの映像を再生します。

- 録画はされません。
- 開始と終了時にパソコンから「ポン」と音がします。
- ワイプなどの機能を搭載したカメラの場合は、イン点より以前とアウト点以降はマスク画面となり、編集される映像の正確な位置が確認できます。（この動作は機種によりできない場合があります）
- 複数のシーンが選択されているときは、押すことができません。

⑯「GOTO」ボタン

プログラムリストの指定されたタイムコード（イン点）が自動的に頭出しされて再生ポーズ状態になります。

- 再生側VTRのみの操作が可能です。

基本操作（つづき）

編集の手順

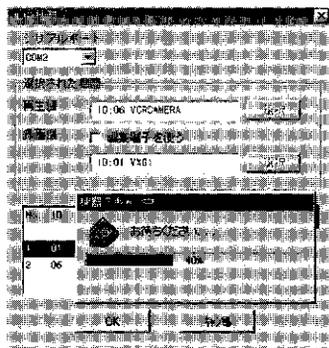
準　備

- 接続機器の電源を入れます。
- ビデオカメラの電源ダイヤルを**「見る」**にしてください。

リストボックス

1. シリアルの初期化

「設定」－「JLIP機器」を選択します。

- 機器を接続したシリアルポートを選択して「スキャン」をクリックします。
- リストボックスから使用する再生機器をクリックして「選択」をクリックします。
- リストボックスから使用する録画機器をクリックして「選択」をクリックします。
- JLIP端子の無いリモートポーズ端子付きビクタービデオデッキ又は他社デッキをお使いの場合は、画面から「編集端子を使う」をチェック、マークを入れてください。
- 再生機器と録画機器を同じ機器に設定することはできません。

・うまく動作しないときには、電源や接続を確かめてから「設定」－「JLIP機器」を選択し、再度シリアルポートを選択して「スキャン」をクリックしてください。

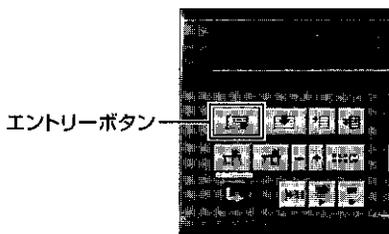
2. ビデオカメラを再生する

ビデオカメラに記録済みテープを入れてください。
コントローラー画面の「▶(再生)」をクリックすると、テレビに再生画がでます。

エントリーボタン

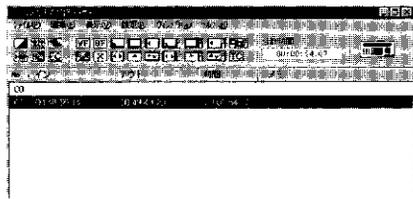
3. ダビングしたいところを選ぶ

再生しているときに「エントリー」をクリックすると、まずイン点（編集開始点）が決まります。もう一度クリックするとアウト点（編集終了点）が決まり、このシーンがプログラムされます。

- 99プログラムまで設定することができます。

・イン点は00:00:30:00以上のカウンター値でないと設定できません。
・アウト点はイン点より大きいカウンター値でないと設定できません。
・ドロップ・フレーム・カウンターのため、設定できない値があります。

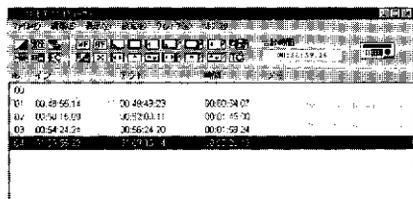
4. 1シーンを再生してみる

設定したシーンをクリック選択します。
選択したシーンが反転表示になるので、「プレビュー」をクリックします。

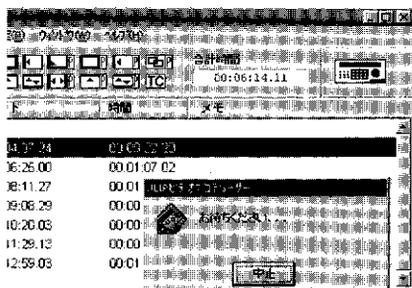
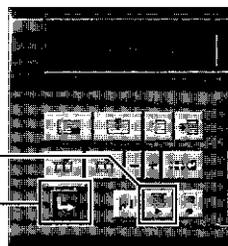
- 1シーンが再生されます。

・場面切替を設定しているシーンを1シーン再生すると、シーンは再生しても場面切替は動作しません。

5. 全シーンを再生してみる(リハーサル)

「オートエディット」をクリックすると、全てのシーンを再生して確認することができます。

- JLIP端子付きビデオデッキを録画機器としてお使いの場合は、ビデオデッキにテープを入れずに、「オートエディット」をクリックしてください。

6. ダビング編集する

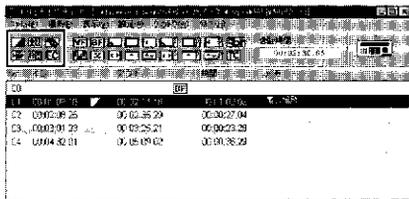
ツメのついたテープを録画側ビデオデッキに入れて、録画一時停止にします。
「オートエディット」をクリックするとJLIPによる自動ダビング編集が始まります。

- ビデオカメラが停止し、録画側ビデオデッキが録画一時停止になったら終了です。
- 録画側ビデオデッキを停止してください。

・プログラム再生中は、他の操作はしないでください。誤動作の原因になります。
・テープの終わりの部分では、「オートエディット」をクリックしても動きません。

基本操作（つづき）

演出効果をつけたいとき

編集したシーンを引き立てる演出効果を設定できます。

- 演出効果を設定したいシーンを選択します。
- 設定したい「演出効果」をクリックすると、イン点右側にマークを表示します。

・設定を取り消したいときは、取り消すシーンをクリックして選択し、効果クリア「EC」をクリックします。

演出効果のセピアまたはブラック／ホワイトと、場面切替のオーバーラップまたは白黒フェーダーは同時に使えません。

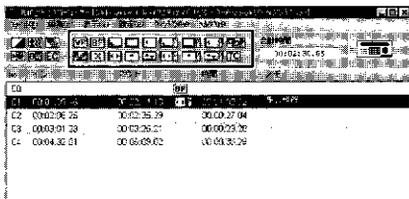
演出効果ボタン

アイコン	効　果
演出効果	
セピア	映像が古い写真のようなセピア色で写します。
ゴースト	被写体が何重にも重なって写ります。幻想的なイメージです。
ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように写します。
映画効果	速いコマ落とし効果を出して写します。
ブラック／ホワイト	白黒映画のように、映像が白黒に写ります。
効果クリア	設定した演出効果を取り消すための効果クリアボタンです。

場面切替を設定したいとき

場面のつなぎに変化をつける場面切替を設定できます。

- 接続する機器に機能が搭載されていないボタンは表示しません。
- 場面切替を設定したいシーンを選択します。
- 設定したい「場面切替」をクリックすると、アウト点右側にマークを表示します。
- 選んだシーンと次のシーンを「場面切替」を使ってつなぎます。
- 編集開始点に場面切替を設定するときは、シーン番号00またはテープ交換のシーンをクリックして選択し、お好みの場面切替を選択してください。

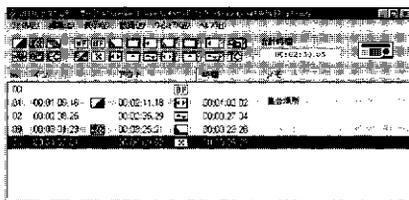
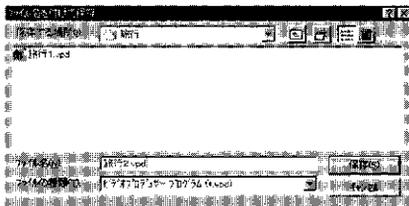
・設定を取り消したいときは、取り消すシーンをクリックして選択し、切替クリア「TC」をクリックします。

シーン番号00またはテープ交換のシーンには、映像を使った場面切替を設定することはできません。

場面切替ボタン

アイコン	効　果
場面切替	
WF 白フェーダー	白い画面で、フェードイン／フェードアウトします。
BF 黒フェーダー	黒い画面で、フェードイン／フェードアウトします。
コーナーワイプ	黒い画面の右上から左下へ、映像が徐々にワイプイン、左下から右下へワイプアウトします。
ウィンドウワイプ	黒い画面の中心から、映像が徐々にワイプイン、画面の中心へワイプアウトします。
スライドワイプ	黒い画面の右から左へ、映像が徐々にワイプイン、左から右へワイプアウトします。
白黒フェーダー	白黒画面からカラー画面にフェードイン、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
モザイクフェーダー	全体にモザイクがかかった画面でフェードイン／フェードアウトします。
ドアワイプ	黒い画面から、映像が左右にドアを開けていくようにワイプイン、閉めていくようにワイプアウトします。
スクロールワイプ	黒い画面から、映像が下から上へ徐々にワイプイン、上から下へワイプアウトします。
シャッターワイプ	黒い画面の中央から上下に、映像が徐々にワイプイン、上下から中央にワイプアウトします。
場面切替（P）	
コーナーワイプ	最後の場面の右上から左下へ徐々にワイプインします。
ウィンドウワイプ	最後の場面に、次に撮影した場面が画面中心から徐々にワイプインします。
スライドワイプ	最後の画面に、次に撮影した場面が右から左へ徐々にワイプインします。
オーバーラップ	最後の場面から次の撮影の映像がだんだん浮かび上がっていくようにオーバーラップします。
ドアワイプ	最後の場面から、左右にドアを開けていくようにワイプインします。
スクロールワイプ	最後の場面に、次に撮影した場面が下から上にワイプインします。
シャッターワイプ	最後の場面に、次に撮影した場面が中央から上下にワイプインします。
TC 切替クリア	設定した場面切替を取り消すための切替クリアボタンです。

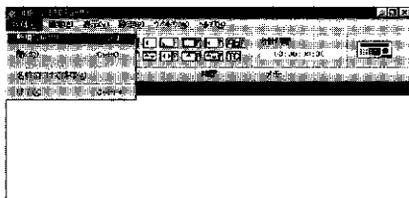
プログラムリストの保存

● 「ファイル」－「名前を付けて保存」を選択します。

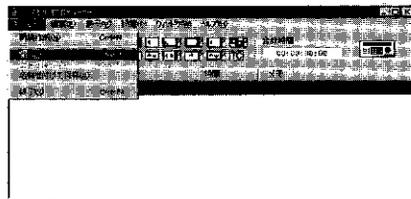
・保存されるのはイン点／アウト点、演出効果、場面切替、時間、メモの情報です。
・映像が保存されるのではありません。
・映像は、ダビング編集でテープ上に記録保存してください。（15ページ参照）

● ファイル名を入力します。
● 「保存」をクリックすると、プログラムリストがファイルとして保存されます。

・ファイル名の長さは、半角に換算して8文字以内です。
・¥ / : * ? " < > | の各文字はファイル名には使用できません。
・プログラムリストのファイル拡張子は、vpdとなります。（例：旅行1.vpd）
・1ファイルに最大99プログラム登録できます。

プログラムリストの新規作成

● 「ファイル」－「新規作成」を選択します。

・それまで編集していたプログラムリストはなくなります。新規作成をする前に、保存してください。

プログラムリストの呼び出し

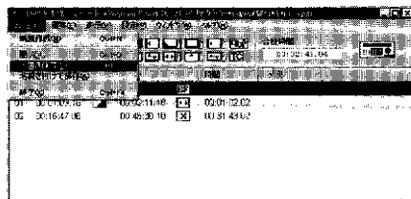
● 「ファイル」－「開く」を選択します。

・プログラムリストを保存したときと同じテープをセットしてください。
・異なるテープをセットすると正しい編集ができません。

● 呼び出したいファイル（プログラムリスト）を選び、「開く」をクリックします。

・ファイル名をダブルクリックしても開くことができます。
・フロッピーディスクからファイルを呼び出すには、フロッピーディスクドライブを選択します。

基本操作

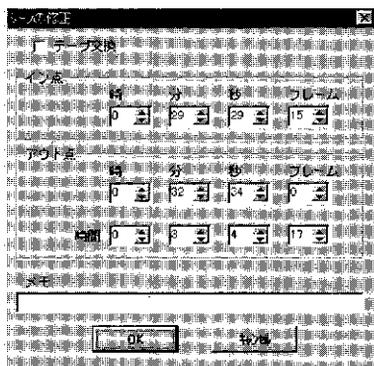
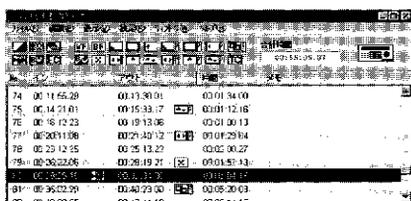
プログラムリストの上書き保存をするとき

● 「ファイル」－「上書き保存」を選択し、上書き保存します。
● 呼び出したプログラムリストを変更したあと、同じファイル名のまま保存したいときに行います。

・変更前の同名ファイルはなくなります。
・残したいときは「名前を付けて保存」で、別のファイル名を付けて保存してください。

シーンを修正したいとき

● 修正したいシーンをダブルクリックします。
（または修正シーンを選んでからコントローラーの「シーンの修正」をクリックします。）

シーン修正ボタン

● 「シーンの修正」画面を表示し、イン点/アウト点/メモ/テープ交換が変更できるようになります。
● 「▲/▼」をクリックまたはキーボードから数字を入力して「OK」をクリックしてください。
● メモ欄に入力したいときは、メモ欄をクリックしてください。

- 00および01フレームが入力できないときは、接続しているデジタルビデオカメラがドロップフレーム方式（9ページ参照）を採用しているためです。
- マウス（右）クリックで、「時間修正（M）」を選ぶと「シーンの修正」画面がでてきます。
- イン点は00:00:30:00以上のカウンター値でないと設定できません。
- アウト点はイン点より大きいカウンター値でないと設定できません。
- ドロップ・フレーム・カウンターのため、設定できない値があります。

シーンの長さを修正したいとき

● コントローラーの「プログラム選択」をクリックしてシーンを選択します。
（または修正したいシーンをクリックしても選べます。）
● 「イン点」または「アウト点」をクリックして修正したいタイムコードを選択します。
● 「＋」または「－」をクリックして1フレームずつタイムコードを加算または減算して修正します。
● 「シーンの修正」画面を表示させないで簡単に修正するときに便利です。

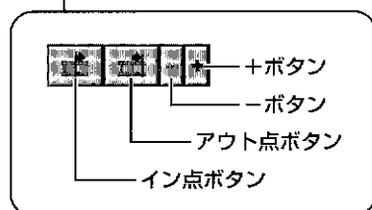
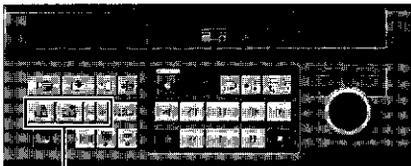
シーンを追加したいとき

- 追加したいシーンをクリックし、「編集」－「追加」－「シーン」を選択します。

- 左ページの「シーンを修正したいとき」をご覧いただき、設定したいイン点／アウト点を入力します。

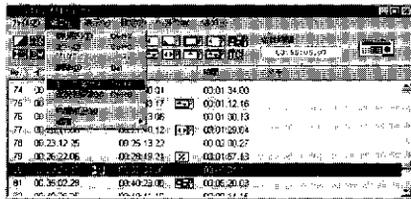
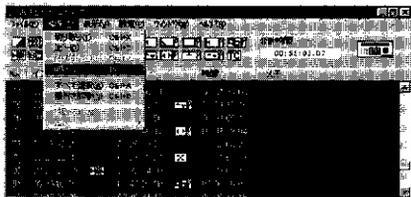
2本以上のテープを使って、1本のテープにダビング編集したいとき

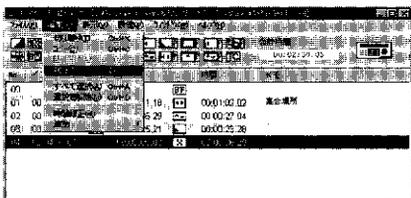
- テープ交換するシーンをクリックし、「編集」－「追加」－「テープ交換」を選択します。
（または、修正したいシーンをダブルクリックすると、「シーンの修正」を表示します。「テープ交換」にチェックマークを入れてください。）

・テープ交換のシーンは、イン点／アウト点を表示しません。
テープの交換をわかりやすくするために、メモ欄に「テープ交換」などのコメントを入れることもできます。

応用操作

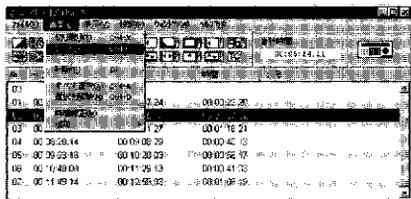
応用操作（つづき）

全シーンを削除したいとき

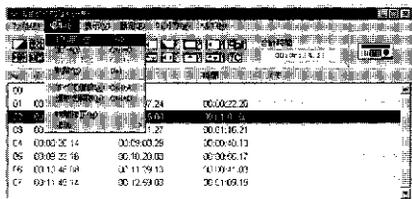
- 「編集」－「すべて選択」を選択します。
- 「編集」－「削除」を選択します。
- 確認メッセージ「XX個のシーンを削除します。よろしいですか？」が出るので、「はい」をクリックすると、全シーンを削除します。

- 全シーン削除はプログラム上での操作なので、もとのビデオテープの映像そのものが失われることはありません。
- マウス（右）クリックで、「削除」を選ぶと1シーンを削除できます。

1シーンを削除したいとき

- 削除したいシーンを選び、クリックします。
- 「編集」－「削除」を選択すると確認メッセージ「1個のシーンを削除します」が出ます。
- 「はい」をクリックすると選択したシーンを削除します。

- マウス（右）クリックで、「削除」を選んでも削除できます。

シーンをコピーしたいとき

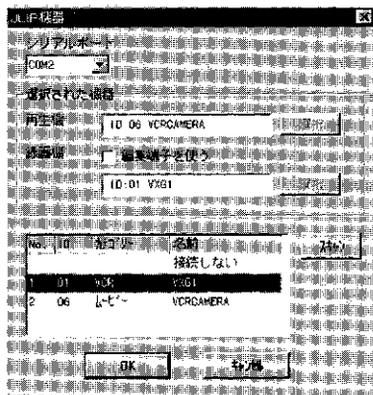
- コピーしたいシーンを選び､クリックします。
- 「編集」－「コピー」を選択します。
- 貼り付けたいシーン番号を選択します。
- 「編集」－「貼り付け」を選択すると目的の場所にコピーできます。

- シーン00をクリックして選択しても、コピーすることはできません。
- マウス（右）クリックで、「コピー」－「貼り付け」が操作できます。
- キーボードの「Ctrl」を押しながら、シーンをドラッグ&ドロップしてもコピーすることができます。選択したシーンの前にコピーされます。
- 任意のシーンを複数選びコピーしたいときは、キーボードの「Ctrl」を押しながらコピーしたいシーン番号をクリックしてください。
- 連続したシーンを選びコピーしたいときは､最初のシーン番号をクリックしたあとで､キーボードの「Shift」を押しながら最後のシーン番号をクリックしてください。

シーンを移動したいとき

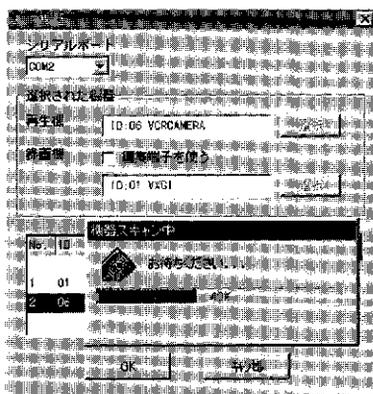
- 移動したいシーンを選び、クリックします。
- 「編集」－「切り取り」を選択します。
- 貼り付けたいシーン番号の行をクリックして指定します。
- 「編集」－「貼り付け」を選択すると目的の場所に移動します。

- マウス（右）クリックで、「切り取り」－「貼り付け」が操作できます。

ID番号を変更する

- 「設定」－「JLIP機器」を選択すると、「JLIP機器」画面を表示します。
- ID番号の変更は、リストボックスのNoを選びます。マウス（右）クリックで、「ID番号変更」を選び、番号を変更してください。
- 同じID番号の機器を接続すると、誤動作の原因になります。接続機器のID番号を変更して重複を避けてください。
- 接続機器側でID番号を変更するときは、接続機器の取扱説明書を参照して変更してください。

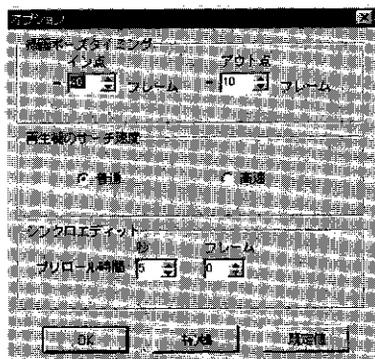
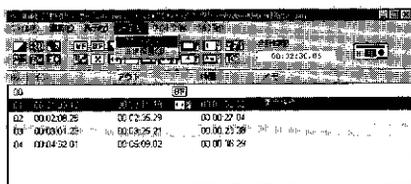
・各機器のID番号は、工場出荷時に設定されています。たとえば、ビクター製ビデオカメラは06、ビクター製ビデオデッキは01です。

途中から別の機器を接続する

- 途中から別の機器を接続したときは、接続機器の確認をします。
- 「設定」－「JLIP機器」を選択すると、「JLIP機器」画面を表示します。
- 14ページ手順**1**の操作をしてください。

・パソコンを再起動せずに、接続機器の確認をすることができます。

ビデオカメラと録画側ビデオの編集タイミングを合わせる

ダビング編集をしたとき、設定しておいた編集点の場面よりも、多少ずれて録画されることがあります。そのようなときには、編集タイミングを変えることにより、編集精度を向上させることができます。

- 14, 15ページのダビング編集をおこない、どのくらいのズレがあるかを確認してください。
- 「設定」－「オプション」を選択し、「オプション」画面を表示します。
  アウト点を設定する場合は録画ポーズタイミングの「アウト点」の数字を修正します。
- 編集タイミングを早くするか遅くするかを半角の英数字で入力、または「▲/▼」をクリックしてください。

- **イン点の設定**
  - 設定した場面よりも余分に録画されたとき
    ▲ 数値を－40フレームよりも小さくする
  - 設定した場面の頭部分が欠けたとき
    ▼ 数値を－40フレームよりも大きくする
- **アウト点の設定**
  - 設定した場面よりも終了点が欠けたとき
    ▲ 数値を－10フレームよりも小さくする
  - 設定した場面よりも余分に録画されたとき
    ▼ 数値を－10フレームよりも大きくする
- 数値を入力したら、「OK」をクリックしてください。

イン点の設定について
- 0～200フレームの範囲で設定できます。
- 初めの設定値は－40（フレーム）です。
- 初めの設定値に戻すには「既定値」ボタンをクリックします。

アウト点の設定について
- 0～－200の範囲で設定できます。
- 初めの設定値は－10（フレーム）です。
- 初めの設定値に戻すには「既定値」をクリックします。

- 設定内容はパソコンに記憶されます。
- 再度ダビング編集をおこなって確認してください。
- ポーズ時間設定をしても、多少ずれることがあります。

応用操作

こんなときは

内　容	●このようなときに表示されます ■このように処置します。	参照ページ
シリアルポートの選択ができない	●内蔵モデムやIrDAを使用している場合、COMに割り付けられているため、RS－232C端子が使用できなくなっている場合があります。デスクトップの「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ポート」の項目で確認してください。COMの空きがない場合はCOMを使用しているモデムやIrDAドライバを「使用不可」にしてください。 ●USBやデジタルスチルカメラのドライバによって、RS-232C端子が使用できない場合もあります。 ■パソコンの機種によってはBIOSの設定が必要です。	—
JLIP機器が検出できない	●シリアルポートの番号が正しいか、確認してください。 ●JLIP機器の電源が入っているか、確認してください。 ●JLIP機器の接続が正しいか、確認してください。 ●接続に使用しているJLIPケーブルと編集ケーブルが間違っていないか、確認してください。 ●2台以上のJLIP機器を接続している場合は、JLIPのID番号が重複していないか、確認してください。	6、7 14 24
コントローラーでデジタルビデオカメラの制御ができない	●「JLIP機器」ウィンドウで「再生機」が設定されているか、確認してください。	14
コントローラーで録画ビデオデッキの制御ができない	●「JLIP機器」ウィンドウで「録画機」が設定されているか、確認してください。 ●JLIP端子付きビデオデッキ以外は制御できません。 ●機器の仕様によって、スロー／サーチ／コマ送り／逆転再生などができない場合があります。お使いの機器の取扱説明書などでご確認ください。	14
演出効果・場面切替が設定できない	●演出効果・場面切替の組み合わせで設定できない場合があります。別の種類の演出効果・場面切替を選択してください。 ●映像を使った場面切替は、シーン00、最後のシーン、テープ交換とその前のシーンには設定できません。	16 17
自動編集動作が停止する	●他のアプリケーションソフトが起動していないか、確認してください。 ●再生しているテープの傷みによって、デジタルビデオカメラから正しいデータが送られてこない場合、このような症状になります。 ●LPモードで記録したテープを別のデジタルビデオカメラで再生すると、このような症状が出ることがあります。 ●ビデオデッキに記録できるテープが入っているか、確認してください。	—

内　容	●このようなときに表示されます ■このように処置します。	参照ページ
ビデオデッキが動作しない	●リモートポーズまたはリモコンでビデオデッキを制御する場合は、自動編集を開始する前に、録画ポーズ状態にしてください。	14
	●リモートポーズまたはリモコンでビデオデッキを制御する場合は、「JLIP機器」ウィンドウで「編集端子を使う」設定がされているか、確認してください。 ●リモコンでビデオデッキを制御する場合は、お使いのビデオデッキのメーカー設定がされているか、確認してください。	—
	●JLIPでビデオデッキを制御する場合は、「JLIP機器」ウィンドウで「録画機」が設定され、また、「編集端子を使う」設定がされていないことを確認してください。 ●接続に使用しているJLIPケーブルと編集ケーブルが間違っていないか、確認してください。	—
演出効果・場面切替が動作しない	●機器の仕様によって一部機能が動作しない場合があります。お使いの機器の仕様を取扱説明書などでご確認ください。	—
自動編集動作が終了しない	●アウト点の設定がテープ上にないカウンター値になっていないか、確認してください。	20
編集点がずれる	●必ず同じようにずれる場合 「設定」－「オプション」の「録画ポーズタイミング」の数値を変更してください。 ●バラツキがある場合 お使いのビデオデッキの動作精度によって、多少のずれが生じる場合があります。	25
デジタルビデカメラの映像／音声が記録されていない	●映像／音声コードの接続を確認してください。 ●ビデオデッキを外部入力に設定してください。 ●ビデオデッキに接続されているテレビに、デジタルビデオカメラの映像／音声が出ることを確認してから自動編集を実行してください。	6、7
日付・時間・タイムコードなどのよけいな表示が記録される	●デジタルビデオカメラの設定を変更して、表示を消してください。	—
パソコンの表示の色がおかしい	●256色以下では正常に表示しません。	—

索引

あ

か

さ

た

は

や

ら

英数字

お問い合わせ

ビクター製品についてのお買物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

■ 東京お客様ご相談センター

☎ (03)5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

■ 大阪お客様ご相談センター

☎ (06)6765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

この機種についてのお取り扱い、接続等の技術的なご相談は、下記までお問い合わせください。

■ DVご相談窓口

☎ (045)450-2770

ビクターホームページ

http://www.jvc-victor.co.jp/

ホームAVネットワークビジネスユニット

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話(045)450-2550

0700MNV＊SW＊V